

# わかったクンの校内散歩

R5・6・14



## 【職員 手話 自主研修】

手話は、聴覚障がいのある方の言語であり、音声言語とは異なった文法体系があります。

当校の幼児児童生徒は、音声言語優位・手話言語優位、それぞれコミュニケーション手段は異なりますが、音声も手話も活用したトータルコミュニケーションで会話を楽しんでいます。

そのためには、職員も手話技術の向上は欠かせません。

聴覚障がいのある教員3名を講師として、自主的に手話獲得に励んでいます。

「この時の表現はどう表す?」「手指の向きはいいかな?」と確認したり、日ごろ疑問に思っていることを話題にし、楽しみながら、技術向上に励んでいます。

